

重点目標一覧表（中間報告調書）

担当部局名	健康こども未来部
-------	----------

【平成28年度重点目標】

重点目標	具体的な重点取組項目（簡条書き）	期限・数値目標等	進捗状況・進捗度
1	重点目標 健幸都市を目指した健康づくり事業の推進 「健康幸せづくりプロジェクト事業」の推進 (1)学校等との連携による「子どもの身体づくりの基本、正しい姿勢の保持」の啓発 (2)30歳代若年健診事業 (3)妊婦歯科健診の実施 (4)対象者に応じた受診勧奨の強化（電話、訪問等） (5)健康づくりチャレンジポイント制度の実施 (6)全市民健康ウォーキング事業の実施 (7)地域健康ウォーキング事業の実施 (8)ロビー・ソファ・ロム予防を健康推進委員と協働で地域に普及啓発 (9)インターバル速歩実践講座修了者継続事業 (10)健康クラウドシステムの運用（H27-H28の2か年事業） (11)あたま・からだ元気体操の実施 (12)健康づくり講演会（腎臓を守るためのシボジウム、運動と健康づくり講演会） 生活習慣病から腎臓を守るための食(育)指導の実施 (1)野菜ノートの作成と活用 こころの健康づくりの推進	(1)市立保育園9園、年4回運動遊び指導、小学校との連携事業、子どもの身体づくり講演会 (2)受診者数 680人 (3)受診者数 360人 (4)電話及び訪問による受診勧奨 2,000人 (5)新規参加者数 1,000人（延べ4,000人） (6)年間参加者数 700人 (7)年間参加者数 350人 (8)広報掲載2回、健康推進委員の実技研修（全地域）各地区・ブロックでの健康教室の開催（随時） (9)新規参加者の継続率90%以上(10)協会けんぽを含めたデータ分析 (11)参加者数 800人 (12)参加者数 1,000人 新たな資料を作成し食(育)指導の充実を図る (1)9月までに資料を作成 一般対象者への研修と健康推進委員研修の実施	(1)9園で4回運動遊び指導を実施中。学校保健委員会（2校）にて正しい姿勢についての健康教室を実施。活動量調査を5校で実施。子どもの身体づくり講演会（6/23）実施。 (2)受診者数 168人（9月30日現在）(3)8月末までの受診者数174人（昨年度の同時期93人） (4)平成27年度の特定健診未受診者を対象に訪問による受診勧奨を9月より実施。実施者数は459人。電話による受診勧奨は国保年金課で対応 (5)参加者数3,785名（9/30現在）。H28.4月～9月までの参加者742名。50代以下の参加者増を狙い、市PTA連合会総会での周知や校長会での (6)参加者数 518人（10月1日現在） (7)参加者数 206人（10月1日現在） (8)広報2回掲載予定、健康推進委員ブロック研修会実施、健康教室随時開催中 (9)前期27人、後期20人、継続参加者34人が参加。期間中、終了後も継続できるように支援している。 (10)協会けんぽからのデータ提供について、現在請負業者の欄つくばウエルネスリサーチが厚労省及び協会けんぽ本部と調整中であり、今年度中にクラウドシステムにデータを登録し、分析を行う予定。 (11)6月～9月までの参加者数（延べ） 上田会場（健康プラザ）1,648名、 塩田会場（自治センター）799名、 真田会場（運動公園）558名、 丸子会場（ベルパーク）366名 【合計】3,371名 (12)腎臓を守るシンポジウムは10月23日開催、運動と健康づくり講演会（荻原次晴氏）は10月30日開催。両事業とも参加者は500人を予定。9月に野菜ノート（4,000部）を作成し、野菜の摂取量の少ない若年者と特定健診の結果からメタボリックシンドロームと診断された方を対象に、食指導用資料として活用。 ゲートキーパー研修（前期）実30人、のべ83人受講
2	重点目標 救急医療体制の整備と医師確保による地域医療体制の充実 安定的な医師確保体制の整備と充実 (1)上田市医師確保修学資金等貸与制度の実施 (2)信州上田医療センターの医師確保事業への支援 (3)医師募集パンフレットの作成 救急医療体制の確保 (1)内科・小児科初期救急センターの運営と周知 (2)深夜・休日の初期救急患者受入体制の整備 (3)病院群輪番制病院と後方支援病院の信州上田医療センターへの支援 地域の医療環境を守るため、医療機関の役割を広報し、適切な受診を推奨	(1)修学資金等貸与制度の継続管理 通年 (2)信州上田医療センターの医師確保事業を広域連合と連携して実施 通年 (3)パンフレットを12月までに作成 広域連合と関係市町村と連携して事業を実施し、初期救急医療と二次救急医療体制を確保する 通年 「知って安心・医療の仕組み」を活用し、広報を実施 通年	医師確保修学資金を新たに1人に貸与。修学資金貸与者5名が、4月から信州上田医療センターに研修医として勤務。信州上田医療センターの医師数は61人。 医師会等との連携により、安定的にセンターを運営し、医療の提供を行った。また、広報うででセンターの利用の仕方について周知を図る。深夜の初期救急患者の受入を医師会に委託し、輪番病院での受入体制を継続。広域連合で実施する二次救急医療機関への支援とともに救急医療体制を整備。 市役所本庁舎、各自治センター窓口等で冊子を配布するほか、健康教室や健康相談でも活用し、適切な受診を周知。また、救急医療の役割や医療体制について、広報うでで周知した。
3	重点目標 安心して子育てができる環境の整備と事業の推進 上田市保育園等運営計画に基づく保育施設の整備 (1)神川地区統合保育園の整備 (2)丸子地区統合保育園（みなみ、東内、わかさ三園統合）の整備 子育てひろばの充実 (1)中塩田児童クラブ開催日拡充 (2)講座・おもちゃ交換会開催 地域における子育て支援の充実 (1)わくわくファミリーフェスタ参加者増、(2)パパカレッジ開催 子育て世代包括支援センターの運営 (1)相談体制の整備、コーディネーターの連携 幼保小中の連携の推進(スタートカリキュラムに向けての連携) (1)川辺小学校と川辺保育園 (2)塩田西小学校と西塩田保育園 (3)丸子北小学校と長瀬保育園 (4)傍陽小学校とそえひ保育園 結婚・子育て応援サイト、アプリ構築	(1)用地取得、実施設計、造成工事 (2)統合園の配置計画、取付道路整備計画 (1)週5日・3時間、(2)講座毎月・交換会1回 (1)10月 250家族、(2)講演会200人 (1)市民周知、全妊婦の状況把握、関係機関との連携 新たに4校4園を加え、16校17園で実施 年度末まで	(1)用地単価妥結、実施設計準備中、開発許可申請書作成中 (2)配置計画案作成、取付道路整備計画案作成 (1)中塩田子育てひろばを4月から週5日開催。(2)10月のイベント開催に合わせて交換会を計画。 (1)10/23(日)開催予定。(2)11/27開催予定。 (1)行政チャンネル・ハンドブックで周知。毎月連携会議開催。地域資源の情報収集。 今年度は新たに以下の4校・4園の組み合わせで連携事業を実施中。 (1)川辺小学校と川辺保育園 (2)塩田西小学校と西塩田保育園 (3)丸子北小学校と長瀬保育園 (4)傍陽小学校とそえひ保育園 業者に委託しワークショップ開始。6回中2回開催し「新生児～3歳児母親」33人参加。
4	重点目標 安全・安心な医療の提供と魅力・活気ある病院づくり 安全で安心な医療の提供及び医療サービスの向上 (1)医療スタッフの確保 (2)信州上田医療センターとの役割分担による連携と関係強化 (3)医療サービス向上のための研修の充実と助産師のレベル 取得 母乳育児の推進（BFH認定継続） 婦人科外来診療の充実 (1)女性の要望に応えた不妊治療等婦人科外来の充実 (2)婦人科良性疾病患の手術の定期的実施 啓発活動の実施 (1)出前講座「命の学級」の実施・検診等による自己管理意識の啓発 新公立病院改革プランの作成とそれに基づく料金の適正な設定	(1)常勤医師3人体制及び看護スタッフの確保 (2)信州上田医療センターとの関係を強化 (3)助産実践能力習熟段階レベル 認証取得5人 退院時母乳育児率4%増加 地域の要望に応える婦人科領域の充実 (1)不妊治療等婦人科外来の充実 (2)婦人科良性疾病患手術8件 公立病院としての啓発活動 (1)出前講座10校、子宮がん検診300件、特定健診10件 新公立病院改革プランの作成	・医師、助産師確保対策として、自治体病院協議会、民間事業者等へ登録、訪問依頼し広く募集している。 ・小児科：新生児回診等 51回、検査科：緊急血液検査、MRI等の画像診断 73件、 産婦人科：母体搬送 7件、11/17妊婦の紹介 8件、産婦人科、小児科症例検討会 2回 ・医師、看護スタッフによる症例検討会の実施24回開催、スタッフ 医師・看護スタッフ合同勉強会10回開催 ・院内母乳育児支援委員会、運営委員会の設置、母乳シボジウムでの取組発表 3名出席 ・昨年度から引き続き一般不妊治療を実施。 A I H 10人実施 ・婦人科良性疾病患手術 4件実施 ・出前講座「命の学級」 1校実施 ・子宮頸がん検診、特定健診を毎週月～金曜日を予約枠とし、昨年度の2日から5日に拡大した。 ・経営将来推計調整中。料金改定案を策定し、後期にて運営審議会へ諮問予定。
5	重点目標 多様なニーズに応えるきめ細かな子育て支援施策の充実 発達支援体制の強化 (1)発達支援事業の啓発の強化 ア ガイドブック作成、小中学校等に配布 イ 市民向け発達講演会年1回開催 (2)発達相談・支援の充実 ア 各保育園に対する相談事業、巡回指導を実施 イ 支援の継続のための関係者会議の開催 (3)発達支援に関する支援者の資質の向上【定住自立圏取組項目】 ア 支援者向け研修会を開催 イ 公開保育、発達支援担当保育士学習会、児童発達支援センター研修を実施 ウ 保育所職員を対象とした研修会を開催 虐待予防と早期発見、適切な対応のための体制づくり (1)講演会を開催 (2)代表者会議、実務者会議を開催 ひとり親家庭への支援の充実 (1)支援制度説明会を開催 (2)就業支援講習会パンフレット送付 (3)ひとり親世帯の交流の場の提供	(1)ア 5月から3月までにガイドブックを2,000部作成 イ 11月 (2)ア 相談事業、巡回指導各48回実施 イ 3月までに1回 (3)ア 8月に1回 イ 公開保育 10/20神科第二保育園、学習会4.5.7.1月実施、 児童発達支援センター研修 6月、10月実施 ウ 10月、11月に2回実施 (1)講演会を11月に開催 (2)各2回ずつ開催 (1)年1回開催 (2)パンフレットを1,600世帯に送付 (3)フェイスブックへの日帰り旅行を2回開催	(1)ア 5月 学校や医療機関等関係機関に1,900部配布 出前講座で20部配布 (2)ア 発達相談事業24回、巡回指導39回 イ 庁内連携会議 4回・広域の連携会議 2回 (3)ア 8月2日開催 講師：渡辺弥生氏 テーマ：幼児期から思春期までの子どもの発達支援のコツ参加者数122名 イ 公開保育実施（神科第2保育園：10/20予定）、保育学習会2回実施（5/31、7/27）、 児童発達支援センター研修5回実施（6/6、/10、/14、/17、/20） ウ 10/28、11/16実施予定 (1)県と共催とし、講演会を11月22日に開催予定。 県内に参加を呼びかける。 (2)代表者、実務者会議ともに6月に1回開催 (1)現況届時に説明。心配ごと相談会の実施 (2)現況届に合わせて、1,517世帯に送付 (3)11月5日、11月12日の2回開催予定

評価基準 [: 目標を上回る進捗] [: 目標どおり進捗] [: 未進捗の部分あり] [× : 全て目標未進捗]

市長指示事項

・「健康幸せづくりプロジェクト」の参加者増を図ること。・地域医療体制の充実に引き続き取り組むこと。・統合保育園の2件については、合意形成・課題解決に向け鋭意取り組むこと。・子育て環境の整備、事業の推進はさらに強化すること。・産婦人科病院の不妊治療支援のあり方については検討していくこと。・発達支援体制については、成果をにらみながら対応すること。・依田産科院への対応についても部局間で連携して取り組むこと。・私立保育園の助成制度についてはよく検討すること。